

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業実績報告書

平成24年2月23日

和泉市長 あて

団体名 信太の森芸能祭実行委員会

代表者名 山口正和

所在地 和泉市王子町

電話

平成23年4月18日付け和泉公民協第6号で交付決定のあった支援金に係る事業の実績報告について、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第16条の規定により、提出します。

記

1. 事業費総額 1,126,010円
(うち、対象経費 1,034,316円)
2. 交付決定額 500,000円
3. 添付書類
 - (1) 事業報告書（様式第12号）
 - (2) 収支決算書（様式第13号）
 - (3) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業報告書

事業の名称	信太の森芸能祭
<p>事業の実施時期 実施場所・内容</p>	<p>時期 平成23年11月6日 場所 鶴山台南小学校体育館 参加人数 観客 450名 関係者 80名 計 530名 内容 今年の歌舞伎こども教室の参加者は15名であったが7割が経験者で、市川箱登羅が生み出した葛の葉物語の全三幕のうち、こども達の希望により「信太明神境内出逢いの場」と「鏡池二度の子別れの場」の二幕を、信太の森歌舞伎は「葛の葉子別れの場」を演じました。そして葛の葉にゆかりのある特別出演として新潟県の文弥人形「猿八座」と東京都の「薩摩説経節」のコラボによる「信太妻」と滋賀県の江州音頭「葛の葉白狐伝」を披露し、多彩に葛の葉物語「恋しくばたずね来てみよ……」の競演となりました。 その他、あかね会による「白狐伝説」を太鼓で激しく・美しく・悲しい音色で表現しました。そして地元鶴山台で活動しているコーラスグループ「童謡・唱歌を唄う会」が「信田の藪」や「モミジ」等を観客と一緒に歌うなど大いに盛り上がりました。</p>
<p>事業の成果</p>	<p>「ちょいず」の支援を受け、「葛の葉」ゆかりの伝承地との交流については、新潟の文弥人形と東京の説経節による「信太妻」を公演した。会場は水を打ったような静けさの中、朗々とした説経節と文弥人形を観客は大いに感動して観劇していました。 薩摩若太夫のあいさつでは、ロシアや愛知県など各地で公演しているがなんと言っても葛の葉伝説の発祥の地であるこの和泉、信太の森の「聖地」で上演することに意義があると述べられた。 江州音頭は文楽とは打って変わって、手拍子を打ち、かけ声を掛け、音頭に併せて踊りにも観客が参加するなど大いに盛り上がった。また、志賀國天寿氏がこの舞台に掛ける意気込みもすさまじく障子から狐が飛び出す仕掛け等気合いの入った舞台であった。 天寿氏も若太夫同様この信太で「葛の葉白狐伝」を公演できた事は非常に良い経験となった話していました。 両者に加え、信太の森歌舞伎と歌舞伎こども教室による「葛の葉伝説」の公演によりこの地に伝わる伝統文化を通じ演じる者と見る者が一体となって交流の輪が一段と大きくなったと考える。 その他にも地元で活躍する狐太鼓のあかね会、コーラスグループと地元ボランティアが一丸となって開催できたことは、「ちょいず」の主旨である「市勢の活性化」「市民の相互交流」を促進する地域振興の一助となり得たと思っている。 アンケートの結果を見ても、「今回の演し物全てが良かった」「葛の葉物語に涙した」等絶賛の声が多く聞かれるとともに、「今後も続けて欲しい」との回答も多くありました。 多数の方が伝統文化を鑑賞する契機になったことや、この事業が地域の文化運動として貴重な役割を果たしているといえる。和泉の伝統文化を今後に伝承していきたい。</p>

課題（今後の方向）	<p>本事業を継続・発展させ、和泉の誇る伝承を歌舞伎等で市民や子ども達に伝承していく取り組みは、現在の社会情勢から考えても重要な課題と考えています。</p> <p>ただ、取り組みには一団体やサークルを越えた費用や負担が必要となります。</p> <p>今後、この芸能祭を継続していくためには、演技指導者の養成等が急務である。</p>
-----------	---

（添付書類）事業内容のわかる写真4～5枚（写真は返却いたしません。）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第13号(第16条関係)

収支決算書

事業の名称： 信太の森芸能祭

1. 【収入】

(単位：円)

項目	金額	積算根拠
支援金	500,000	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入		
自主財源	65,585	
	327,000	企業からの後援会会費
	196,360	個人からの後援会会費
	37,065	カンパ
合計	1,126,010	

2. 【支出】

(単位：円)

費目	金額	積算根拠(数量、単価等)
報償費	460,000	講師謝礼等
旅費	111,500	葛の葉ゆかりの地の団体招請
消耗品費	25,917	事務消耗品 保存用箱、防臭剤
食料費	104,277	昼食・お茶等(内32,358円)
印刷製本費	62,549	ポスター・チラシ等印刷代
役務費	12,240	広報誌等の送付
委託料	240,000	ビデオ撮影・音響設備一式・
使用料及び賃借料	37,262	カツラ使用代金等
原材料費	52,490	衣装および大・小道具材料費
雑費	19,775	記念品代
合計	1,126,010	
対象経費	1,034,316	

※費目は、別表(第9条関係)に記載されているとおりに記載してください。

(添付書類)

- ・事業の経費に係る領収書(原本)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。